



香美町

農委だより

No.37

令和4年9月22日発行

発行 香美町農業委員会
編集 香美町農業委員会
情報部会

兵庫県美方郡香美町香住区香住870-1
電話 0796-36-0846



村岡区大笹の向日葵

中山間地の棚田の遊休農地を利用して、3年くらい前から景観作物の向日葵の種をまき管理をして、大輪の花を咲かせています。

雄大な鉢伏山の景色と、向日葵と、通る人みんなを笑顔にしたいそんな思いと、向日葵の花ことばのように「情熱」をもって取り組んでいます。

昨年は、この向日葵を「ハチ北高原の向日葵」として、第1回の向日葵祭りが開催されました。

本号の主な記事

- ◆頑張っている農家の皆さんの声…………… P2～3
- ◆編集後記…………… P4
- ◆シリーズその⑰ 我が村の自慢…………… P4



頑張っている農家の皆さんの声

「かっこいい農業女子！」

香住区矢田 みかた小町 代表 三浦 由紀子さん

私が美方大納言小豆を作ろう！

なんとなくぼんやりと考えて私は役場を退職し、考えていたことを実行にうつした今、美方郡の特産品である美方大納言小豆を作付し、収穫した小豆を自分であんこにして、おはぎなどを作ってお店で提供するようになりまし。

みなさんは「みかた小町」って聞いた事ありますか。「みかた小町」とは、香美町と新温泉町合同で作る女性農業者グループの名前です。活動を始めて今年で4年目になります。令和3、4年度はグループの代表を私がさせていただいています。

香美町の職員として仕事をしていた時から「農業女子」という言葉をよく聞いており、今ではずいぶんと定着してきたような気がしています。しかし当時、兵庫県内にもたくさん女性の農業者が活躍しているように聞いていましたが、果たして香美町内にはどれだけ

の女性が農業をしているのか、どのような内容の事をしているのか...と考えると自分がかかりました。

そんな時に兵庫県で「農業を頑張る女性を応援する」の事業案内が目にとまりました。せっかくなので香美町だけでなく、新温泉町にも声をかけて美方郡として合同グループを立ち上げることにしました。

1年目の目標は「女性農業者の交流を深める」。2年目の目標は「新規女性農業者の育成」。3年目の目標は「地域特産品の栽培に取り組み」。

女性農業者は、それぞれの仕事をしながら「みかた小町」の活動に参加してくれています。メンバーは年々少しずつ入れ替わっていますが、集まって一緒に作業をする時は情報交換の場になっており、和やかで楽しいと感じます。女性は仕事（農業）だけでなく、家事や育児などで日々忙しく、息を抜く時間もありません。

仕事だけでなく、色々な悩みを抱えているので、同じ農業者として交流する中で自然と情報の交換が出来ています。「みかた小町」の活動で女性農業者同士が知り合ったり、輪を広めて、町内外に農業についての情報発信が出来る会であつてほしいと願っていますので、今後も続けていければと考えています。

農業とは「男性」のする仕事と思っている人が多いと思います。実は私もそう思っていました。確かに、力では女性より男性が強く、農業に向いていることが多いかもしれません。しかし、女性に向いている作物もあります。また細やかな作業をしたり、男性が仕事をしやすくするための準備など、女性の担っている部分も少なくないと感じています。女性は女性の目線で男性にはない部分で力を発揮していますので、女性農業者もかっこいいし、輝いて欲しいです。

現在、頑張っている農業者の高齢化が加速し、後継者が減少する中、耕作放棄地が増えています。「消してはいけない作物」「つなぐ伝統作物」「農地の保全」「魅

力ある農業」「儲かる農業」など自分の中でいくつかのキーワードがありますが、難しい問題ばかりで一人では絶対に解決できそうもありません。男性とか女性とか関係なく、同じ思いを持っている仲間や地域の協力などを得ながら、今後も前向きに取り組んで行く予定です。



「牛飼いのつぶやき」

小代区 神水 毛戸 誠さん

私が、この欄に、寄稿するのは、2度目となります。前回は牛の低価格に対する苦悩について書いたと思います。あれから、数年後、価格が劇的に高騰しました。決して永続的なものとは思いませんが、現在の様々な思いを書き連ねてみたいと思います。

現在の畜産業界は農家戸数は、減少傾向にあるもの

の、牛の頭数自体はむしろ右肩上がりの増加傾向にあると思われま。

これは何を意味するかと言うと、高齢農家の廃業、その反面、若手農家の新規参入、それによる多頭化が顕著なことがあげられると思われま。

畜産業界も新陳代謝が進んでいるようです。10頭程度は多頭化のうちにもはいらない、当然それに伴い、労働力の省力化、当然機械化ということになり、畜産イコール労働力といわれた我々の若いころからみるとまさに今昔の感があります。

さて私自身はといいますと、寄る年波、とてもその波についていけずリスクを恐れるあまり思い切った投資もできず、労働もきつく感じる今日この頃です。牛の価格基準も「まず体重ありき」となり、まずでかく育て上げることを第一目標にせざるを得なくなりまし。そんななか今の自分に何



「むらおか夢アグリという会社を ご存じでしょうか」

村岡区原むらおか夢アグリ株式会社 代表取締役 今井 裕子さん

むらおか夢アグリという会社を皆さんご存じでしょうか...? 主に農業と農産物の加工食品を行っている会社です。これまで、様々なステージで働いてきて定年を迎えた方が主な労働者です。家庭菜園の知識と経験しかない者が、面白おかしく時には悪戦苦闘をしながら

むらおか夢アグリという会社を皆さんご存じでしょうか...? 主に農業と農産物の加工食品を行っている会社です。これまで、様々なステージで働いてきて定年を迎えた方が主な労働者です。家庭菜園の知識と経験しかない者が、面白おかしく時には悪戦苦闘をしながら

がでできるかと色々と考えを巡らしてみます時、急激多頭化、施設の改造、そして機械化、いずれも現状に鑑みて現実的とは思えません。かといって過重労働もとても... 後継者も望めない現状で、何が自分にできるのか?! できることからコツコツと地道にやってみますか! 先行き何処にいきつくかそれは誰にもわかりません。さあ!これから子牛にミルクでも飲ませて、そしてそれから...

がら、各専門職の指導を受け、露地野菜を作っています。

農業って、労働力のわりに収益が上がらないというイメージが強く、『農業では食べていけない』と私も感じていた一人です。しかし、そこを脱却したいな... と無い知恵を絞りたい、自社の強みを最大限活かした農業をやっていきたくて日々奮闘しています。

新鮮で安くておいしい野菜を販売する直売所。お店のない集落で地元のおばあちゃん小銭をもつて買い物に来てくれる。かわいがってもらえていることに感謝です。また、観光客の人が立ち寄ってくれることで、農園のPRにもなっているのかな... 野菜を作って出荷して終わるのではなく、販売路の拡充。これが、大事なことで今感じています。広大な農地の有効活用で、



集客力を上げること。今年度は、収穫体験ができる観光農園としても行っていきます。冬場は加工作業です。『矢田川みそ』を中心として、自社の作物で加工品を増やし販売していきます。新鮮で、おいしく、安心して食べられるは、大前提ですが、アグリ農園は、元気に楽しく従業員が働き、農園を訪れた人が、『行ってよかったな』『また行きたいな』と思ってくれたら、それが『遊べる農園』を目指して挑戦中です。

我が村の 自慢

シリーズ
その17

「ヨイヤサッサ、ヨイヤサッサ！」

しょうぶづな
「菖蒲綱づくり」



和田区では古くから端午の節句（旧暦の5月5日）に、菖蒲綱づくりが行われていました。村の総出の行事であるため、近年では6月5日前後の日曜日に行うようになっていました。

前日には各家ですすき、よもぎ、しょうぶで束をいくつか作り、軒に投げ上げて、屋根を清めます。薬草を用いて、病魔を払い、家を守り、安全を祈願するものです。

菖蒲綱の由来は、当地に伝わる竜の伝説によるものと考えられます。昔大きな池があり、そこに棲んで害を与えていた大蛇を退治し、祟りを除くために祠を建てたそうです。実際、皇大神社の本殿には竜の装飾があり伝説の名残を感じさせます。この行事を取りやめた年には大火事に見舞われたので、その後は毎年続けて行われるようになったと伝わります。



菖蒲綱づくりは地区の伝統行事であり、共同作業を通して区民が交流を深める場として意義深いものだと考えます。疫病、災害、戦争のない世の中を願って。

村岡区和田 大澤 一弥

編集後記

今年も空梅雨で例年よりも早く明け、毎日真夏日の暑い日が続き田んぼの水不足が心配です。

農家は降れば降った照れば照ったで、心配事が尽きませんがそれに対処していくしかありません。

皆さん頑張っておいしいお米を作りましょう。

今は田圃の畦草刈りの最中ですが、あとは収穫期までに大きな台風が来ないよう豊作であることを願っています。

コロナについてもゼロにするにはまだまだ難しいですが、マスク着用基準も示されwithコロナで注意を払いながら普段の生活を取り戻しつつあります。

学校給食・外食産業等も完全復活し需要拡大により、早く米の価格も戻ることを願っています!!

今回の『農委だより』も「頑張っている農家の皆さんの声」へご寄稿いただいた皆様・情報部会員のご協力によりスムーズに発行できることになりました。

ありがとうございました。

香美町農業委員会

情報部会長 門垣 日出男